

# 『快速よむべえ』拡大モデル(YK-2100-D21)設置ガイド

## 梱包の確認

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>本体</p> <p>モニター</p>  <p>本体</p> | <p>カメラ</p>             | <p>操作パネル</p>                   |
| <p>原稿ガイド</p>                    | <p>カメラ用 USB ケーブル</p>   | <p>本体用 AC アダプタ&amp;電源コード</p>  |
| <p>下敷きマット</p>                  | <p>モニターケーブル(VGA)</p>  | <p>電源コード(モニター用)</p>          |

## 書類と CD

- 読み取り精度確認シート
- 手書き読み取りサンプルシート
- 図解取扱説明書
- 録音取扱説明書
- 設置ガイド
- 使用許諾契約書
- ユーザー登録はがき(保証書)
- サービスガイド

出荷時、本体にケーブル類はすべて接続済みです。箱から取り出した後は、本体電源とモニター電源をコンセントに差し込み、電源を入れて、快速よむべえが起動したらカメラにケーブルを接続してご利用ください。

## カメラの設置

以下の説明は設置例です。設置場所や向きはご自由に変えていただいて構いません。

1. 水平な机の上に 50cm 角程度のスペースを確保し、付属の下敷きマットを敷きます。下敷きマットの角にあけた丸い穴が左奥へくるようにします。下敷きマットを利用しなくても快速よむべえの動作に支障はありますが、用紙などは下敷きマットがあるとしっかりと動かなくなり、取り除くときも指でつまみやすくなります。



2. 原稿ガイドは下敷きマット正面の奥に置きます。向きはハンドルのように飛び出たところが右へ、直線のところが手前へくるようにします。



3. カメラは差し込み口を奥に向け、底の部分を原稿ガイドの穴にはめて真っすぐ立てます。



4. カメラの支柱の高さを変えると撮影範囲が変わります。撮影範囲は支柱の最も低いところで A4 サイズ、最も高いところで A3 サイズになります。支柱は上の部分を手で引っ張ると高くなります。



5. カメラをはめる原稿ガイドの穴の場所は撮影範囲が A4 の場合と A3 の場合とで異なります。

- A4 の場合は穴の右奥のところにカメラをはめます。
- A3 の場合は穴の左手前のところにカメラをはめます。



- カメラは二つ折りに畳んだ状態になっており、写真のように腕を水平に 90 度開くことができます。開いた腕の先のほうにあるレンズが真下の印刷物を撮影します。(レンズには触らないでください)

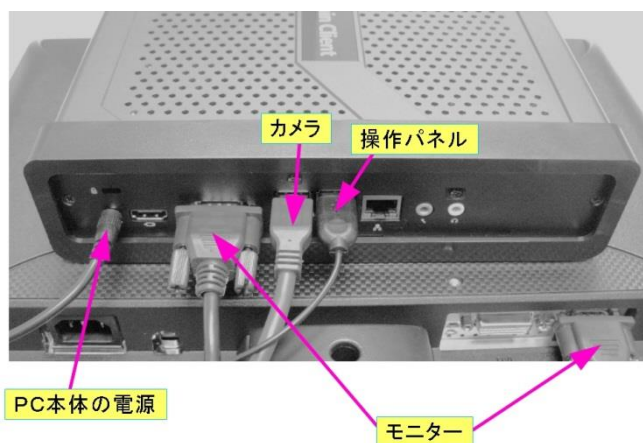


## 機器の接続

1. カメラの突起が付いた接続口へカメラ用 USB ケーブルを接続します。



2. モニター背面の本体にケーブル類を接続します。本体の電源(ACアダプタ)を家庭用コンセントに接続します。



3. モニター用電源ケーブルをモニターに接続し、家庭用コンセントから電源を取ります。



## 設置上の注意

- カメラのレンズを汚したり、傷つけたりしないようにしてください。
- 本体 は使っていると熱くなることがあります。皮膚が触れたままになる場所には置かないでください。
- 本体 自体が高温になると誤動作する恐れがあるので、熱がこもる場所に本体を置かないでください。また、本体の上に物を載せたり、被せたりするのはやめてください。
- ケーブルやその接続口に過度な力が加わらないよう、ケーブルの取り回しにはご注意ください。



## 使って見る

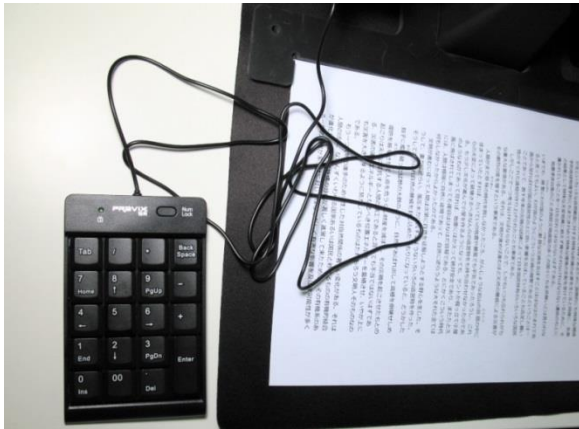
1. 本体の電源を入れます。1分程すると起動したことを伝える音声がかかります。



2. カメラの腕の先にLEDライトのタッチセンサースイッチがあります。周囲の環境や印刷物の紙質によってLEDライトのオン/オフは認識結果に影響を与えることがあります。



3. 操作パネルの置く場所はどこでもかまいませんが、操作パネルのケーブルが印刷物の上にのらないよう注意してください。



4. 読み取り範囲はA4用紙サイズになります。A4用紙を置く場合、原稿ガイドの直角のところに用紙の角がぴったりとはまるよう配置します。



5. お使いになる環境にあわせてカメラは向きを自由に変えていただくことができます。例えば、以下のような設置の仕方でもOKです。

